

【授業の到達目標および概要】

地域における各種集団を対象とした研究論文及び学術書を中心に、集団特性の理解、研究枠組の設定及び考察の仕方の学習、地域保健における健康管理の理論と実践及び集団アプローチの方法の学習等を通じて、地域保健の課題発見及びその解決方法についての実践的な知識と研究力を身につける。

そして、これらの実践的な知識と研究力を身につけることで、研究会や学会等において客観的な発表及び討論ができるようにする。

【授業計画】

- ①～④ 集団特性の理解、研究枠組の設定及び考察の仕方の学習（論文等の指定：教員）。
- ⑤～⑧ 地域保健における健康管理の理論と実践及び集団アプローチの方法の学習（論文等の指定：教員）。
- ⑨～⑫ 1～8回に沿って、自らの関心事に関する論文等を設定し集団討議をする（論文等の指定：院生）
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

疫学的な手法及び解析ソフトの使用について自己学習をし、また各自の研究課題について文献学習を深める。

【成績評価の方法・基準】

学習態度及びレポート提出または課題発表により評価する。

【教科書】【参考書】【教材】

随時、論文・プリント等を配布する（事前配布）。

【備考】

欠席等の場合は事前に連絡すること。ただし、欠席者に対しては、当日配布の論文・プリントについての課題学習・レポート提出をしてもらう。